

かんと 漢人あきこの 市議会レポート No.106



市民自治こがねい 小金井市本町2-19-36 Tel/Fax 042-387-3787
 小金井市議会 みどり・市民ネット 本町6-6-3 Tel.042-383-1111

第2回定例議会の報告 6/4~24

一般会計補正予算 可決

DV被害者へ定額給付金に替わる給付金支給や、来春開所の民間保育園（本町5丁目、民間、60人）の補助金、3月成立の住民投票制度に対応する経費などは評価しますが、環境破壊の公共事業など莫大な税金のムダ遣いとなるオリンピック招致予算が含まれているため、会派として反対しました。

本町6丁目の認証保育園の新設支援、市庁舎建設の基本構想づくりの予算も追加提案されました。庁舎問題の具体的な検討が、やっと始まることを評価して賛成しました。

はけの緑地購入の陳情書 採択

はけの自然を大切にしたい会の陳情を全員賛成で採択。市は直後の該当地の競売に参加し、落札。隣接地の市民トラスト運動も始まるようです。一体的な自然再生整備が必要です。

市民交流センター 会議室に監視カメラ?!

公会堂にかわる施設として武蔵小金井駅南口再開発の中で作られている市民交流センター(仮称)の会議室に、監視カメラを付けることが、6月17日の総務企画委員会でわかりました。飲酒や喫煙などの誤った使い方を見張るため、とか?!

政治集会もあれば、演劇サークルが着替えもする公共の会議室です。その映像を、誰が見て、何に使われるのでしょうか。現状OKの飲酒の禁止も初耳です。利用者である市民も含めた議論や検討がないなかで、行われるべきことではありません。

市民交流センターは、都市再生機構が作ったものを市が買うことになっています。取得額はアップして70億円を超えるようですが、トンデモナイおまけまで押しつけられそうです。

- 7/15(水) 総務企画委員会
- 22(水)13:00~ 駅周辺整備調査特別委員会
- 23(木) 厚生文教委員会
- 8/ 4(火) 議会運営委員会
- 5(水) ごみ処理施設建設等調査特別委員会
- 19(水) 建設環境委員会
- 21(金) 行財政改革調査特別委員会
- 26(水) 庁舎建設等調査特別委員会
- 27(木)14:00~ 議会運営委員会

議会の
日程

気になる議案の採決結果	みどり・市民ネット						共産	民・社	公明	自民	自民ク	改革	市民会
	漢人	片山	田頭	青木	野見山	渡辺							
2009年度一般会計補正予算(第1回) 可決	×	×	×	×	×	×							
生活保護の老齢加算・母子加算の復活を求める意見書 可決									×				
日本軍「慰安婦」問題に対する国の誠実な対応を求める意見書 可決									×	×	×	×	

賛成 × 反対 退席 数字は人数 民主市民は宮崎議長が採決に加わらないため

共産党 / 森戸 関根 水上 板倉 民主党・社民クラブ / 村山 武井 宮崎 鈴木 公明党 / 宮下 紀 小林 渡辺
 自民党 / 中根 露口 自民クラブ / 遠藤 中山 改革連合 / 篠原 こがねい市民会議 / 斉藤 (敬称略)



1960年生れ/緑町在住
市議4期目 建設環境委員/議会運営委員/駅周辺整備調査特別委員/庁舎建設等調査特別委員
市民自治こがねい共同代表/「みどり三多摩」運営委員/「みどりの未来」運営委員長

漢人の一般質問から

6/10に2つのテーマで質問しました

平和市長会議に参加!

広島・長崎両市長が中心を担い、「核兵器廃絶の緊急行動 - 2020ビジョン」を掲げて国際的に活動している「平和市長会議」への参加を求めたところ、市長から緊急行動への賛同、平和市長会議への参加、ともに前向きな答弁がありました。

全米市長会議はブッシュ政権下でこの緊急行動提起に全会一致で賛同しています。住民に近い自治体にこそ、平和力の発揮、平和アクションが求められます。

DV防止基本計画をつくります

2007年のDV法(配偶者暴力防止法)改正により、市町村に努力義務が課された基本計画策定について、今年度中に素案をつくるなどのスケジュールが示されました。

被害者の早期発見と適切な支援のための職員研修は、今年は昨年度実施の保育園に加え、学童保育所、児童館などに拡大して実施されます。

日本軍『慰安婦』問題に対する国の誠実な対応を求める意見書

女性差別撤廃条約選択議定書の批准を求める意見書(全員賛成)

「慰安婦」意見書は、国会での公聴会、政府の公的謝罪、被害者の名誉回復など誠実な対応を求めるもので、全国の8議会が同趣旨で提出、都内では清瀬市、三鷹市に次いで3番目です。アメリカ、オランダ、カナダ、EU、フィリピン、韓国、台湾での議会決議や国連からの勧告など国際世論も高まっています。被害者のみなさんが高齢化し訃報も相次ぐ中、早急な対応が迫られます。

意見書から

今議会で政府や国会に提出した12の意見書の内、この2つは私と片山さんが発議したものです。

燃やすごみ
5年で **24.5%**
減量しました!

市報こがねい7/15号で、2003年からの5年で焼却量を約5200t、24.5%減量したことが報告されています。

私は2004年9月の一般質問で、「ごみゼロを目標にした『ごみ処理基本計画』の策定」を求め、まずは10年で半減の長期目標、ごみになる製品を作らせない、企業の責任強化への働きかけ、多摩地域全体での「焼却炉は新設せず、既存炉も段階的に縮小、閉鎖」への連携した取り組み、を提案しました。

当時はイマイチの答弁でしたが、実態はその方向に進んでいます。

先日は三多摩10数自治体の議員の研修合宿で小金井のごみ問題がテーマとなり、厳しい意見とともに、ごみ減量と非焼却処理のリードへの大きな期待も寄せられました。

各地で焼却炉の建て替えが続きます。非焼却に向けた市民・議員の連携がますます重要です。

漢人あきこと片山かおるは、市民グループ「市民自治こがねい」と一緒に活動しています。市民による政策提言や問題提起をすすめる誰でも参加自由の集まりです。季刊「散歩だより」次号は「市議会のしごと」特集、9月発行です。

議会では「みどり・市民ネット」という会派をつくりました。「市民参加と情報公開による市民本位の市政の実現のために市民にわかりやすく開かれた議会をめざし、地方分権時代にふさわしい意思決定・チェック機関として議会を活性化」「それぞれの政治的立場や見解の違いを尊重」などを基本姿勢としています。